

高性能Catalyst 9500スイッチでのアプリケーションホスティングの設定

内容

はじめに

このドキュメントでは、前面パネルからインターフェイスを使用して、高性能C9500スイッチでアプリケーションホスティングを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- LAN スイッチング
- Catalyst 9000でのアプリケーションホスティング

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ハードウェア : C9500-24Y4C、C9500-48Y4C、C9500-32C、C9500-32QC
- ソフトウェアバージョン : 17.12.3

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

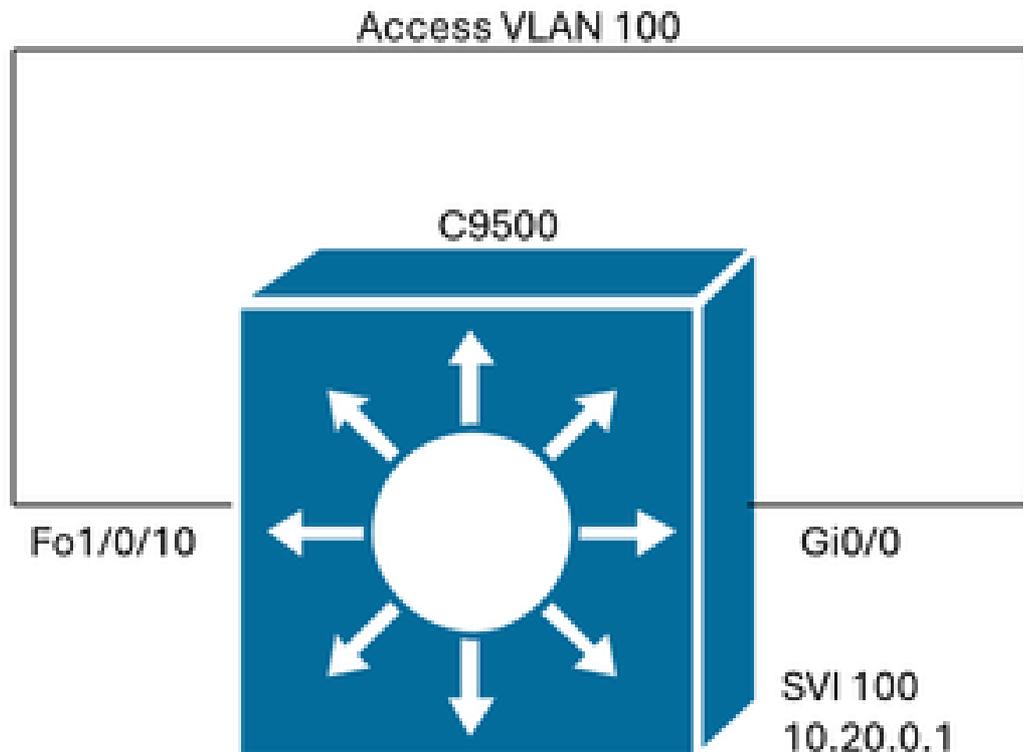
問題

問題は、高性能なC9500スイッチでは、スイッチでホストされているアプリケーションへの到達可能性のためにAppGigabitインターフェイスがサポートされていないことです。ホストを管理インターフェイスに接続する場合は、アプリケーションにアクセスできる必要がありますが、ネットワーク内のさまざまなホストから到達可能であることが必要な場合は、前面パネル・ポートを使用する必要があります。

解決方法

これらのモデルでホストされるアプリケーションの接続は、任意の前面パネルポートからのルー

プバックを介した管理インターフェイスによって実現されます。これは、高性能C9500スイッチでAppGigインターフェイスがサポートされていない場合の回避策です。この回避策を使用するには、前面パネルから管理インターフェイスにケーブルを物理的にループさせ、ループさせたインターフェイスをアプリケーションSVIと同じVLANのアクセスポートとして設定する必要があります。このトポロジを参照してください。



ステップ1：ループインターフェイスを設定します

```
interface FortyGigabitEthernet1/0/10
switchport access vlan 100
```

ステップ2:VLANインターフェイスを設定します

```
interface Vlan100
ip address 10.20.0.1 255.255.0.0
```

ステップ3：管理インターフェイスを設定します。IPは、アプリケーションがホストされているSVIと同じサブネットにある必要があります。

```
interface GigabitEthernet0/0
vrf forwarding Mgmt-vrf
ip address 10.20.0.101 255.255.0.0
negotiation auto
```

ステップ4：アプリケーションホスティングを設定します。この例ではiPerfを使用します。詳細については、次のドキュメントを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/switches/catalyst-9200-series-switches/220197-use-iperf-on-catalyst-9000-switches-to-p.html>

アプリケーションのIPアドレスは、SVIと同じサブネットにある必要があります

```
app-hosting appid iPerf
app-vnic management guest-interface 0
  guest-ipaddress 10.20.0.2 netmask 255.255.0.0
app-default-gateway 10.20.0.1 guest-interface 0
```

ステップ5:SVIをポイントするVRFでスタティックルートを設定します

```
ip route vrf Mgmt-vrf 0.0.0.0 0.0.0.0 10.20.0.1
```

次に、C9500上のアプリケーションに到達できるようにホストを設定するには、次の手順に従います。

注：この例では、異なるサブネットのSVIを使用して異なるホストをエミュレートするダウンストリームスイッチが使用されています。

ステップ1：ホストにIPアドレスを設定します

```
interface Vlan200
ip address 10.17.0.2 255.255.0.0
```

ステップ2:C9500では、IPがホストネットワークと同じサブネットにあるSVIを設定する必要があります。

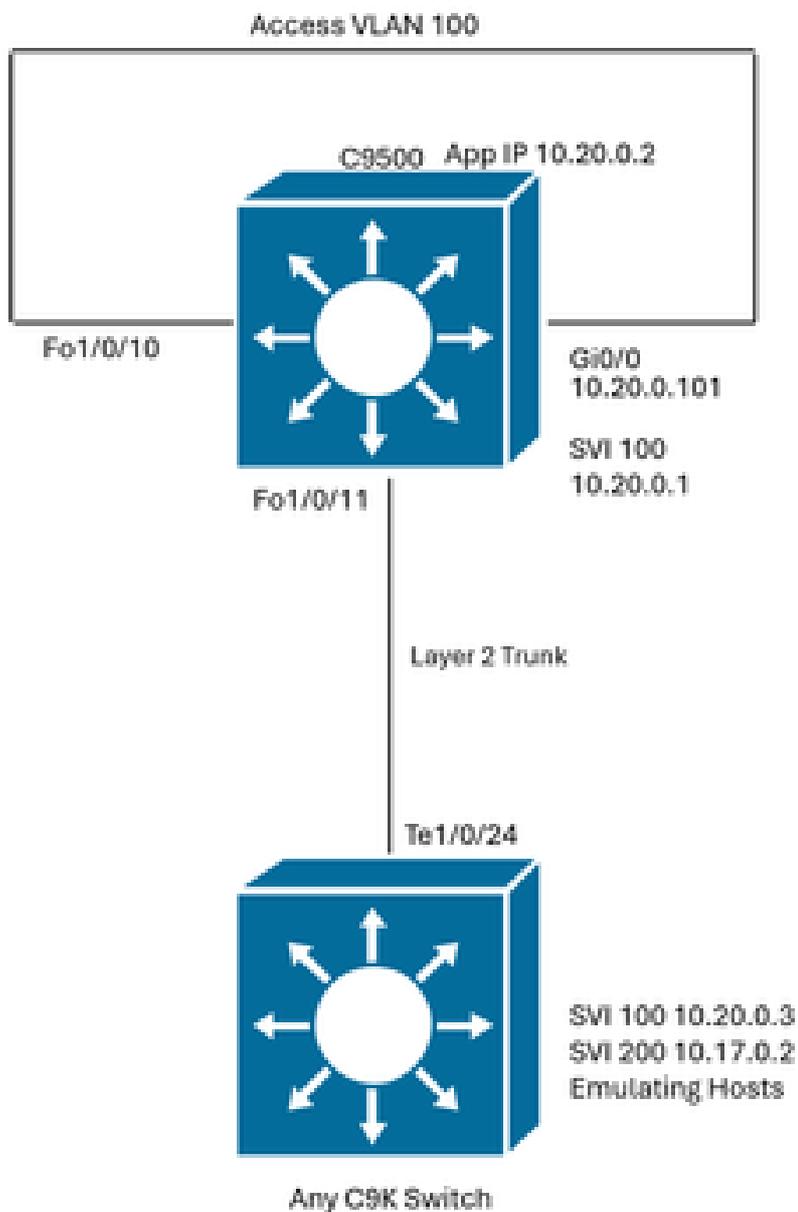
```
#C9500
interface Vlan200
ip address 10.17.0.1 255.255.0.0
```

ステップ3：この例では、すべてのVLANを許可するレイヤ2トランクを設定しました。

```
interface TenGigabitEthernet1/0/24
```

switchport mode trunk

次の最終的なトポロジを参照してください。



関連情報

- [Catalyst 9000スイッチでのiPerfを使用した帯域幅テストの実行](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。